

第7期（平成29年度）

総会記録資料



日時 平成29年4月16日（日）18:00～
会場 北名古屋市文化勤労会館
北名古屋市法成寺蔵化60番地

日本ボーイスカウト愛知連盟
尾張東地区
地区HP：<http://www.scout-owarihigashi.org/>

第一部 開会式

開会の言葉

国旗儀礼、国歌斉唱

コミッショナー

協議会長挨拶

横江協議会長

スカウト紹介

コミッショナー

富士スカウト・隼スカウト

第二部 議案審議

議長選出

書記選任

総務委員会

総会成立確認

定足数確認報告

(議員数 178 名)

事務局

出席 111 名 委任状 33 名

議案

第1号議案 平成28年度事業報告の件

地区委員長、コミッショナー
各運営委員長

第2号議案 平成28年度決算・会計監査報告の件

事務局 会計係、監事

第3号議案 地区役員改選の件

地区委員長

休憩

第4号議案 平成29年度事業計画(案)の件

地区委員長、コミッショナー
各運営委員長

第5号議案 平成29年度予算(案)の件

事務局 会計係

第三部 閉会式

協議会長 挨拶

協議会長

連盟歌斉唱

指揮 石川保子 氏

国旗儀礼

コミッショナー

閉会の言葉

組織・拡充委員会

事業報告

別紙 事業・活動報告の通りです

評価反省

- ・3部会制（事業・ツール・広報）は活発な討議が出来るようになった。
- ・地区の主要な会議記録概要を発表し委員の意識向上に努め、他部門連携の重要性認識を高めました。
- ・毎月の登録状況増減表を地区委員会、団委員長会議、定例会委員会で報告できました。
- ・地区ホームページの活用を見直し管理された情報展開と利用率向上のアピールを強化していきます。
- ・地区フェイスブックの運用も5年目となり内容も充実してきました。
- ・地区誌「はやぶさ」の予定通り発行できたが記事投稿の片寄りは解消できませんでした。
- ・県図画・写真コンテストの審査員奉仕（技能章考査員：絵画・写真）ができませんでした。
- ・委員会出席ゼロの団が2個団あります。不参加理由を調査し参加率向上を目指していきます。
- ・登録システムの活用法についてさらに研究していきます。

スカウト進歩委員会

事業報告

別紙 事業・活動報告の通りです

評価反省

1. 進級数値目標達成

① 富士スカウト章修得者	1名	目標3名	達成率33.3%
② 隼スカウト章修得者	8名	目標20名	達成率40%
③ 菊スカウト章修得者	25名	目標32名	達成率78%
④ 一級スカウト修得者	44名	目標49名	達成率89.8%

ベンチャー部門の成績は目を覆う惨状です。

来期に向けて、目標値の設定が的を射ているか、スカウトの進級意欲は喚起されているか、隊指導者の指導は適切か、等々各団の団委員長さまと担当コミッショナーさまに研究をお願いします。

また、当委員会に於いては、隊指導者およびベンチャースカウトへの支援方法について、定例会議を通して研究を行います。

2. 団面接の完全実施と個人進歩記録帳の整備

菊・隼・富士の面接は、地区面接時に戴く進歩記録にて確認されるが、一級進級については申告漏れが考えられます。

来期は、報告書書式を改善してより正確を期すべく考えています。

個人進歩記録帳につきましては、半期に一度の進歩状況報告を見る限り80%以上の成績です。

しかし、菊申請書の発行タイミングと内容を見ますと疑問を持たざるを得ない場合があります。

進歩状況報告時、即ち、半年に一度の記帳ではスカウトの進級に遅滞が生まれます。2ヶ月に一度の更新を定例会議を通して呼びかける必要を感じています。

平成30年4月に予定されているBS-VS部門の規定改定に伴って、菊スカウト章面接者が倍増する予想が考えられます。面接会場をエリア毎に設定する工夫をする必要が考えられます。

来期の定例会議の中で、この課題を研究・解決する所存です。

3. 技能章講習会の開催

予定された6会の講習会は恙無くやり遂げることが出来ました。

BS-VS部門の規定改定に伴って、参加資格をBS一級以上に改定する必要が叫ばれています。

来期は、コミッショナーの助言を戴き、定例会議にて研究をいたします。

4. フォーラム

日帰り実施を行い、参加者の増加を見ました。

県フォーラムも日帰りが検討されていると聞きます。来期も日帰りを実施します。

5. 定例会議

情報交換会を組み入れた現方法にて参加率80%の盛会を続けています。地区・県連の情報を余すところなく開示する方向を守って定例会議の盛会を続けます。

講習会牽仕は、牽仕者の団は偏る傾向が続いています。改善方法に知恵を絞ります

指導者養成委員会

事業報告

別紙 事業・活動報告の通りです

評価反省

平成28年度重点施策に対する評価

3・実効性のある指導者研修

(1) 定型外訓練の充実

⇒年間計画の定型外訓練（全7回）を開催できました。

参加者は延べ125名となり、目標の125名を達成できました。

(2) インサービス・サポートの推進

⇒コミッショナーの主導により、定型訓練参加者への支援が実施出来ました。

WB 研修所参加者（全コース計）32名

WB 実修所参加者（VSコース）2名

(3) 運営委員会の充実

⇒年間6回の委員会開催でしたが、通年平均の参加率が89%となりました。

昨年の67%を大きく上回りましたが、参加0回の団があり、参加促進の施策が必要です。

活動内容に対する評価

1-(1) 第2回東海4県連盟合同野営大会に向け、派遣隊指導者全員がBS研修所修了を目指します。

⇒WB研修所BS120期（春コース）への参加者は5名となりました。

3 指導者の養成（確保）に関して研究・開発を行います。

⇒指導者の養成（確保）が全団で必須であるとの認識を共有できました。

その研究・開発に関しては、次年度へも継続とします。

3-(1) 年間に7回の定型外訓練を開催し、延べ参加者125名を目指します。

⇒参加者は延べ125名になり、目標の125名を達成できました。

指導者の養成（確保）とも連動して、参加者の増員拡大の研究・開発が必要です。

3-(2) コミッショナーと連携の元、地区内指導者に対しインサービス・サポートの体制を強化します。

⇒コミッショナーの主導により、定型訓練参加者への支援が実施出来ました。

定型訓練参加者（研修所・実修所）参加者34名となりました。

3-(3) 運営委員会を、委員全員の研修の場とするため、グループワークを活用した運営を目指します。

⇒全6回開催の委員会の内3回で、グループワークを活用して運営しました。

委員全員の意見交換などが出来、委員の研修の場として活用できました。

事業報告

- ・別紙 事業・活動報告の通りです

評価反省

- ・東海4県連盟合同野営大会（2TC）参加に向けた壮行会や資機材搬入搬出等を無事完遂でき、大会を側面から支援できました。
- ・ホームステイ事業に於いて関係各位のご協力を頂き、2TCで13名、CJKベンチャープロジェクトで2名、計15名のスカウトを地区内6家族で受入れて頂き、県連要望事項を達成できました。受入先には大変ご苦勞をお掛けしました。ありがとうございました
- ・次年度以降のホームステイ受入宅確保に向け、今年度ホームステイ受入宅に受入感想調査を行い、受入による良かった点を多数寄せていただきました。
この感想を県連HP等への掲載を計画しホームステイ受入PRと受入宅確保に役立てていきます。
- ・危機管理体制強化の一環として「野舎営届」「県外旅行申請書」の提出状況確認を地区委員会や行事国際委員会の席で報告を行いました。
- ・海外派遣事業に於いては地区事務長の協力も頂き、各団へ派遣情報を配信しました。
- ・フィルモント派遣事業に於いては、参加スカウトと指導者による体験報告会を、多数の方々に聴講参加いただき、2月19日「レディアンかすがい」で開催しました。
日頃の訓練では体験できない、数多くの経験を報告いただき、有意義な内容でした。
次回以降、多数の参加応募がある事を願います。
- ・3月19日、第4回地区ビバースカウトラリーを開催、今回は一般募集を行い、スカウトエリアと一般エリアと分け募集に繋がる内容で実施し約210名の参加を得ました。入団勧誘を進めます。
- ・委員会出席率は年度目標未達となりました。欠席団へは議事録や資料の配信を行い、情報提供を行いました。
- ・委員会出席ゼロの団が2個団あります。不参加理由を調査し参加率向上を目指していきます。

総務委員会

事業報告

- ・別紙 事業・活動報告の通りです。

評価反省

- ・団委員研修所・団委員実修所の参加者増加は、登録団委員数297名中3名の参加で目標数値10%に程遠い結果となりました。
今後は、委員会でも参加促進をいたします、各団におかれても参加促進をお願いいたします。
- ・「防災ボランティアコーディネーター養成講座」参加者7名で目標数値は皆様のおかげで達成できました。ただ、その後のフォロー（フォローアップ・レベルアップ講座への参加）ができず、次年度の課題といたします。
- ・地区ボウリング大会については、参加者が減少傾向のため次年度は（次年度も開催予定です。）増員を目標にいたします。
- ・委員会 年6回開催予定が、第5回目が各委員の都合がつかず、年5回開催となりました。
委員会出席率は別紙のとおりで、全体で目標数値に至らず、次年度は重要議題を絡めての開催予定いたします。各団総務委員または団委員長には是非ともご出席をお願いいたします。
- ・RS対象「リクルート懇談会」は当地区から7名の参加者で数値目標は達成できました。
2回目、まだ実績はありませんが次年度も開催予定ですので、多数の参加者と、地元の企業に就職ができる態勢づくりをしてゆきます。

事業報告

1. 年1回の総会と4回の定例会
総会 参加者：36名 地区外2名
第1回 参加者：36名 地区外2名
第2回 参加者：17名 地区外5名
第3回 参加者：22名
第4回 参加者：18名
2. 小牧山親子ラリー奉仕 参加者：18名
3. 熊本地震義援金 参加者：11名
金山駅と地区総会で募金し、ARC（愛知ローバース会議）を通じて日本赤十字社に送金しました。
4. 地区VSフォーラム 参加者：15名
5. 2TC 直前決起集会 参加者：22名（尾張東地区：17名）
ポケモンGO 風に創意工夫をし、2TC 参加者居場所を知り交流を深めました。
6. クリスマス会 参加者：15名（尾張東地区：13名）
テーブルマナーを学び、社会に出たときに必要な知識を身につけました。
7. 地区VSアフターフォーラム 参加者：13名
8. ビーバーラリー 参加者：15名

評価反省

発足して6年が経過し、地区ローバース行事に継続して10人以上参加することができるようになり、今年度から新たに取り入れた各団でローバー活動を促進させる『個人企画』では、実際に4個団が展開してくれました。地区ローバース企画だけでなく活動が増え、活動の幅が広がり、多くのローバースカウトが活躍する場が徐々に増え、地区ローバースの存在意義がより強くなったと感じる事が出来ました。多くのローバーが集まる地区になってきたので、仲間集めの活動だけでなく社会に対して貢献ができる活動をしていきます。

コミッショナーグループ

事業報告

・別紙 事業・活動報告の通りです。

評価反省

【コミッショナー】

- ・2TCの準備のため当地区に実行委員会を設置し、会議を定例開催しました。同じSCを構成する尾張ブロック各地区と連携するとともに、参加隊の支援や各団への連絡に遅滞が生じないように努め、予算の執行、決算を適正に行いました。
- ・地区トレーニングチームに所属するチーム員の研鑽機能を高めるため、また参加者に質の高い研修を提供するために、個々の研修を担当するタスクチームで事前会議の内容を強化するなどに取り組みました。トレーナーを中心としたタスクチームの強化をねらったものですが、研修の評価反省が甘くPDCAによる向上が不十分であるとの反省があります。その他に、チームのチーフグループが指導者養成委員会と連携し、運営上の責務や役務の手順などを明文化した資料を作成しました。
- ・定形外訓練の実施内容を決める際、隊長RTなどから得たニーズを反映させて、より部門が求める研修に近づくように努めました。各部門に特化した訓練には必ず副コミッショナーをスタッフに配置するなど、

ニーズの反映がられないように配慮しました。また、次年度の訓練計画は、各部門がまとめたニーズにより構成しました。

- ・ウッドバッジ及び団委員研修所の修了者は33名、またウッドバッジ及び団委員実修所第2教程の修了者は4名、計37名でした。次年度も引き続き参加者の支援を行います。

なお、アスカウトリーダーネーション（ALTC）の修了者が1名あり、4月からALTの職務が委嘱されました。次年度、当地区はトレーナー15名態勢で指導者及びトレーニングチームスタッフの支援を行います。

- ・地区救急チームは、救急章、看護章の修得を目的とした技能章講習会の講師として、年3回奉仕した結果、同章の修得が進みました。救急チームが引き続き活動するために、今後はチーム員の増員と若手への継承に努める必要があります。

【BVS部門】

- ・毎回具体的なプログラム開発ならびに展開を、グループワークを活用して研修・研究を重ねました。それらが自隊のプログラムにどのように実施展開できているのか確認を図りながら、スカウトや保護者が満足できるプログラムの向上に取り組みます。

- ・隊訪問を通して現況確認だけでなく、団・隊指導者ならびに保護者との交流や意見交換を図りました。どの団も、団指導者や保護者の理解や協力があり、スカウトたちは活発に活動をしています。これらを基に、隊指導者への個別支援を考えます。

【C S部門】

- ・新課程プログラム変更初年度のため、RTの課題研究で重点的に取り組んだ結果、各団指導者の理解は促進されましたが、実施した上での疑問点等が生じているので、次年度も引き続き取り組む必要があります。

- ・隊訪問については、日程調整不足により数回しか実施することができませんでしたので、次年度も引き続き実施を計画します。

【B S部門】

- ・第2回東海四県連盟合同野営大会の主管部門として、参加スカウトの事前訓練および各隊の大会参加に対し支援を行いました。大会においては、スカウト達は元気に大会を楽しみましたが、指導者の隊運営技能、野営技能の更なる向上に向けて、課題をもって取り組んでいく必要があります。少人数隊にとっては、複数班での隊運営を経験するよい機会となり、今後の活動に活かしていけるよう期待とともに見守っていきます。

- ・菊スカウトについては、目標32名に対し、25名の受章となり、昨年度より12名ほど減となりました。残念ながら2TCの準備訓練と進級の両立が図られなかったことが大きな原因にあります。引き続き中3でほぼ全員のスカウトが菊スカウトになれるよう、指導者の支援を行います。

【V S部門】

- ・昨年の地区VS議長会議を引き継ぐような形で平成29年度のVS議長会議が立ち上がり、議長を中心に、スカウトによる会議が月1度の頻度で開催されました。また、地区VS大会として、1泊2日のキャンプが清須市水とびあで行われることになり、議長会議の目標の1つが達成できたことは評価できると考えます。

- ・本年の隼章・富士章修得者について、隼は6個団より8名、富士は1個団より1名であり、年度当初の目標数に対して隼スカウト章40%、富士スカウト章33%の達成率でした。富士スカウト章については前年度の進捗状況が影響した結果であり、所属隊長への支援不足がこのような結果に繋がり反省すべき点となりました。隼スカウト章についても昨年と同水準であり、富士スカウト章と同様の理由を反省点としました。

- ・技能章の修得については、地区技能章講習会の取り組み方を変更した結果が大きく影響をしていると評価します。

- ・隊訪問については、日程調整ができず目標であった全団訪問が達成できませんでした。しかしながら、各隊との個別のやりとりの中で定例の隊会議が行われていない、不定期開催のため時間の調整ができない、活動の実態が無いなど問題が山積していることがわかり、次年度以降のVS隊活動を支援するための情報が収集できたことは評価できると考えます。

【R S部門】

・ラウンドテーブルの出席率は前年度に比べて良くなっています。内容も必ず協議事項、課題を準備し、研鑽の場になるよう努めました。ただし、出席する隊長は決まっております、すべての団に対する支援には至っていません。ラウンドテーブルに出席しない隊に関しては、一度隊訪問を実施し、隊の現状について隊長と話し合う機会を作る必要があると感じました。

・英国エディンバラ公国際アワードに関しては、1名はゴールドに向けて継続中、1名は脱落という現状です。地区内8名のアワードリーダーを有し、支援する体制は整ってきていますが、新規参加者が現れないのが現状です。アワードリーダーを活用し、それぞれの団、エリアでの説明会を開くなど、新規参加者の掘り起こしを進める必要があると考えています。

【団担当】

- ・設定した目標件数5件に対して、達成できたのは3件でした。達成できた3件は、団とのコミュニケーションが良好だったことによるものです。一方、未達であった2件は、団そのものが再生への取り組みを閉ざしたことやリーダーがいなかったこと、取り組みへの計画が策定できなかった、などの理由が考えられます。
- ・団委員長サミットでは、その計画準備に団担当コミッショナー以外の方にも参画してもらうことができました。また、団活塾に参加していた各団の方達と情報交換ができました。

事務局

事業報告

- ① 愛知連盟会議出席・奉仕しました
 - ・県連総会 平成28年6月19日 受付業務
 - ・事務長会議
年3回 平成28年7月2日、10月19日、平成29年3月7日
- ② 地区委員会／団委員長会議、他会議の招集開催を致しました。
 - ・地区委員会 9回開催
 - ・団委員長会議 3回開催
- ③ 会議資料作成などの事務作業を行いました
 - ・県連等による配布資料の分配、情報伝達のペーパーレス化を推進しました
- ④ 行事費、登録費等会計に関わる資金管理を致しました。

評価反省

事務長会議、諸会議において情報収集交換を積極的に行い、地区への情報展開を速やかに行い諸事項について各委員会との協働で遅滞なく各団宛展開することができました。一部、情報量が多大のため情報展開が遅れました。次年度は情報展開等遅滞なく各委員会と協働で行います。

決算

H28年度会計決算報告

1. 一般会計						
<収入の部>						
(単位：円)						
科 目		予 算	決 算	摘 要		
1	前 年 度 繰 越 金	346,783	346,783			
2	地 区 費 (継 続 登 録)	1,364,600	1,364,600	20,000×22団+600×1,541人		
3	地 区 費 (追 加 登 録)	70,000	39,400	追加登録 70人		
4	県 連 回 付 金	125,000	126,417			
	1) 訓 練 研 修 費	100,000	119,000	BS講習会、救急章講習会、ホームステイ補助金(73,000)		
	2) 緑 の 募 金 還 付 金	25,000	7,417	緑の募金補助金		
5	雑 収 入	10,000	34	利息等		
6	積 立 金 か ら 取 り 崩 し	1,000,000	1,000,000			
合 計		2,916,383	2,877,234			
<支出の部>						
科 目		予 算	決 算	摘 要		
1	訓 練 研 修 費	200,000	216,352			
	1) 指 導 者 講 習 会 ・ 研 修 会	30,000	11,057	BS講習会、各研修会支出 - 参加費 (267,267-256,210)		
	2) スカウト技能章講習会	20,000	59,955	技能章、フォーラム支出 - 参加費 (191,955-132,000)		
	3) コミッショナー研修会	150,000	145,340	コミッショナーグループ研修		
2	行 事 費	120,000	112,626			
	1) スカウトラリー	60,000	58,211			
	2) ペンチャー行事費	40,000	32,436			
	3) ローバー行事費	20,000	21,979	地区ローバース活動費		
3	事 業 費	900,000	997,508			
	事業費	組織・拡充委員会	200,000	131,929	活動費、資料、地区機関紙(93,614)、HP維持費(20,736)	
		指導者養成委員会	50,000	48,776	旅費、印刷代他	
		スカウト進歩委員会	50,000	35,748	"	
		行事・国際委員会	50,000	355,055	ホームステイ(223,000)アグーナリー他(70,000)、旅費他	
		総務委員会	50,000	25,108	旅費、印刷代他	
		コミッショナー	200,000	150,119	"	
	運営費	事務局	50,000	38,968	腕章、スカウトあいち掲載料(30,000)	
		会議費	140,000	137,050	会場使用料	
		事務・通信費	20,000	6,264	振込手数料	
		慶弔費	60,000	68,491	祝儀、香典	
	雑費	30,000	0			
4	備 品 購 入 積 立 金	50,000	50,000	資材、機材、備品		
5	全 国 大 会 関 係 積 立 金	300,000	300,000	日連、県連各大会		
6	東 海 4 県 合 同 野 営 大 会 支 援 金	1,000,000	827,823			
7	繰 越 金	346,383	372,925			
合 計		2,916,383	2,877,234			
2. 特別会計						
科 目	前年度残高	H28年度収入	H28年度支出	次年度繰越	摘 要	
1	備 品 購 入 積 立 金	250,000	50,000	0	300,000	
2	全 国 大 会 関 係 積 立 金	2,850,000	300,000	1,000,000	2,150,000	2TC等準備金
合 計		3,100,000	350,000	1,000,000	2,450,000	

平成29年 3 月 3 1 日

監 査 報 告 書

日本ボーイスカウト愛知連盟
尾張東地区協議会
協議会長 横 江 昭 憲 殿

日本ボーイスカウト愛知連盟
尾張東地区協議会

監 事

河合正治

監 事

伊藤敏行

私は、平成28年度の決算において、帳簿並びに関係書類の監査を行った結果、
収支決算書は会計帳簿の金額と一致し、尾張東地区の収支状況及び財産状態を正しく
示しているものと認めます。

以上

役務		氏名	所属
顧問		船 橋 鐸 夫	小 牧 第 1 団
		中 村 隆 二	春 日 井 第 2 団
協議会長		井 上 勲	小 牧 第 2 団
協議会副会長		中 村 倫 之	小 牧 第 1 団
		河 村 武 人	北 名 古 屋 第 1 団
		横 江 昭 憲	日 進 第 2 団
		佐 々 由 高	犬 山 第 7 団
地区委員長		平 野 嘉 彦	北 名 古 屋 第 1 団
地区副委員長		中 村 友 一	北 名 古 屋 第 2 団
		中 谷 洋	小 牧 第 1 団
地区コミッショナー		小 林 弘 幸	春 日 井 第 8 団
地区副コミッショナー	BVS	林 由 美 子	尾 張 旭 第 1 団
		石 川 圭 祐	江 南 第 1 団
	CS	日 比 野 良 治	江 南 第 3 団
	BS	古 木 啓 介	小 牧 第 1 団
		植 木 治 雄	北 名 古 屋 第 1 団
	VS	佐 藤 精	日 進 第 2 団
		古 川 秀 晴	犬 山 第 7 団
	RS	宮 下 彰 洋	犬 山 第 7 団
		中 川 大 輔	北 名 古 屋 第 1 団
		伊 藤 克 敏	春 日 井 第 4 団

団担当コミッショナー		申 崎 武 志	春日井第10団
		高 多 宣 彰	日進第1団
		小 林 泰 陸	春日井第4団
		佐 藤 慶 子	春日井第2団
		椎 葉 育 美	江南第3団
組織・拡充委員会	委員長	椎 葉 浩 志	江南第3団
	副委員長	青 木 正 士	春日井第4団
指導者養成委員会	委員長	伊 吹 登	長久手第1団
	副委員長	山 口 貴 美 江	春日井第10団
		藤 井 孝 之	小牧第2団
		森 裕 次	瀬戸第6団
スカウト進歩委員会	委員長	八 橋 隆	江南第1団
	副委員長	金 田 高	日進第2団
行事・国際委員会	委員長	井 上 文 義	瀬戸第1団
	副委員長	間 下 伸 一	清須第1団
総務委員会	委員長	大 谷 茂	北名古屋第1団
	副委員長	田 口 澄 雄	瀬戸第6団
事務局	事務長	岩 花 竜 章	清須第1団
	副事務長	中 村 里 美	北名古屋第2団
	会計係	志 水 幹	日進第2団
ローバース代表委員		佐 藤 遥	小牧第1団
		土 本 拓 弥	清須第1団
監事		境 正 人	犬山第5団
		河 合 正 治	大口第1団

平成29年度地区運営方針

1 運営方針

「基本原則」に沿ったスカウト活動ができるように、各団への支援を強化するとともに、地区として「スカウト数の増加」「指導者の養成(確保)」に向けた取組みを計画的に推進することとします。

2 目標

- (1) スカウト数の増加に向けた具体的な施策の実施
青少年100人に0.8人のスカウト確保を目指します)
- (2) 全ての団から、「菊」「富士」取得者を目指します
 - ①地区目標達成に向けた対応
 - ②BS部門とVS部門の進級課程一本化への対応をします
- (3) WB研修所、実修所への参加支援
 - ①課題研修等のトレーナーによる一貫支援(担当制)をします
 - ②将来の地区を見据えた態勢づくりをします

3 重点施策

- (1) 「第3回愛知ベンチャースカウト大会」に向けた支援
 - ①参加者および関連事業への支援態勢強化を致します
- (2) 「班(組)活動のできる」団に向けた対応を推進(団の統廃合を含む)
 - ①少人数団(隊)への他団との合同集会の推進をします
 - ②団訪問等による団への支援強化をします
 - ③他団との合同見学会等の開催に向けた取組みをします
- (3) 実効性のある指導者研修
 - ①定型外訓練を充実します
 - ②インサービス・サポートの推進をします
 - ③隊長会および運営委員会の充実(研修の場としての活用)
- (4) 危機管理体制の充実強化
 - ①防災ボランティア・コーディネーターの養成をします
- (5) セーフ・フロム・ハームの推進をします
- (6) 第17回日本スカウトジャンボリーへの対応をします

4 各運営委員会事業計画

別紙資料の通りです

H29年(2017年)度 予算 (案)

1. 一般会計						
<収入の部>					(単位:円)	
科 目		H28年予算	H29年予算	適 要		
1	前 年 度 繰 越 金	346,783	372,925			
2	地 区 費 (継 続 登 録)	1,364,600	1,310,000	20,000×22団+600×1,450人		
3	地 区 費 (追 加 登 録)	70,000	50,000	100人		
4	県 連 回 付 金	125,000	120,000			
	1) 訓 練 研 修 費	100,000	100,000	セミナー補助金		
	2) 緑 の 募 金 還 付 金	25,000	20,000	緑の募金		
5	雑 収 入	10,000	10,000	寄付金、祝儀、利息等		
6	積 立 金 か ら 取 り 崩 し	1,000,000	0			
合 計		2,916,383	1,862,925			
<支出の部>						
科 目		H28年予算	H29年予算	適 要		
1	訓 練 研 修 費	200,000	230,000			
	1) 指 導 者 講 習 会 ・ 研 修 会	30,000	30,000	BS講習会、資料他		
	2) スカウト技能章講習会	20,000	50,000	技能章研修会、資料他		
	3) コミッショナー研修会	150,000	150,000	コミッショナーグループ研修		
2	行 事 費	120,000	120,000			
	1) スカウトラリー	60,000	60,000	カプラリー		
	2) ベンチャー行事費	40,000	40,000	議長会等		
	3) ローパード行事費	20,000	20,000	地区ローパス活動費		
3	事 業 費	900,000	870,000			
	組 織 ・ 拡 充 委 員 会	200,000	200,000	委員会活動費、資料代他、機関紙4回発行		
	指 導 者 養 成 委 員 会	50,000	50,000	"		
	スカウト進歩委員会	50,000	50,000	"		
	行 事 ・ 国 際 委 員 会	50,000	50,000	"		
	総 務 委 員 会	50,000	50,000	"		
	コ ミ ッ シ ョ ナ ー	200,000	200,000	旅費、印刷代、トレーニングチーム経費		
	事 務 局	50,000	50,000	スカウトあいち		
	会 議 費	140,000	140,000	会場使用料		
	事 務 ・ 通 信 費	20,000	20,000	振込手数料		
	慶 弔 費	60,000	60,000	祝儀他		
	雑 費	30,000	0			
4	備 品 購 入 積 立 金	50,000	50,000	資材、機材、備品		
5	全 国 大 会 関 係 積 立 金	300,000	300,000	日連、県連各大会		
6	大 会 支 援 金	1,000,000	100,000	3AV		
7	予 備 費	346,383	192,925			
合 計		2,916,383	1,862,925			
2. 特別会計						
科 目		前年度残高	H29年収入	H29年支出	次年度繰越	適 要
1	備 品 購 入 積 立 金	300,000	50,000	0	350,000	
2	全 国 大 会 関 係 積 立 金	2,150,000	300,000	0	2,450,000	大会準備金
合 計		2,450,000	350,000	0	2,800,000	

資料

平成28年度 隼スカウト・富士スカウト 伝達者名簿（取得順）

隼スカウト

田崎 健太	小牧第1団
小川 優輝	瀬戸第6団
開内 舞那	小牧第1団
後藤 友佑	春日井第10団
平手 慎丈	小牧第1団
気駕 尚幸	小牧第2団
佐藤 優真	春日井第2団
柴田 雅弥	春日井第4団

富士スカウト

納堂 聖也	江南第1団
-------	-------

平成28年度運営委員会出席状況表

組織・拡充委員会

	出席/開催	出席率
犬山第5団	4/6	67%
犬山第7団	1/6	17%
大口第1団	6/6	100%
尾張旭第1団	2/6	33%
春日井第2団	6/6	100%
春日井第3団	0/6	0
春日井第4団	6/6	100%
春日井第5団	4/6	67%
春日井第8団	3/6	50%
春日井第10団	3/6	50%
北名古屋第1団	1/6	17%
北名古屋第2団	5/6	83%

	出席/開催	出席率
清須第1団	3/6	50%
江南第1団	2/6	33%
江南第3団	6/6	100%
小牧第1団	3/6	50%
小牧第2団	4/6	67%
瀬戸第1団	6/6	100%
瀬戸第6団	5/6	83%
長久手第1団	0/6	0
日進第1団	4/6	67%
日進第2団	6/6	100%
平均出席率	80/132	60%

スカウト進歩委員会

	出席/開催	出席率
犬山第5団	5/6	83%
犬山第7団	5/6	83%
大口第1団	5/6	83%
尾張旭第1団	6/6	100%
春日井第2団	6/6	100%
春日井第3団	4/6	66%
春日井第4団	4/6	66%
春日井第5団	6/6	100%
春日井第8団	6/6	100%
春日井第10団	4/6	66%
北名古屋第1団	5/6	83%
北名古屋第2団	5/6	83%

	出席/開催	出席率
清須第1団	5/6	83%
江南第1団	6/6	100%
江南第3団	6/6	100%
小牧第1団	6/6	100%
小牧第2団	4/6	66%
瀬戸第1団	2/6	33%
瀬戸第6団	6/6	100%
長久手第1団	5/6	83%
日進第1団	6/6	100%
日進第2団	5/6	83%
平均出席率		80%

指導者養成委員会

	出席/開催	出席率
犬山第5団	6/6	100%
犬山第7団	6/6	100%
大口第1団	4/6	67%
尾張旭第1団	6/6	100%
春日井第2団	5/6	83%
春日井第3団	0/6	0
春日井第4団	6/6	100%
春日井第5団	6/6	100%
春日井第8団	5/6	83%
春日井第10団	5/6	83%
北名古屋第1団	5/6	83%
北名古屋第2団	6/6	100%

	出席/開催	出席率
清須第1団	5/6	83%
江南第1団	6/6	100%
江南第3団	6/6	100%
小牧第1団	6/6	100%
小牧第2団	5/6	83%
瀬戸第1団	6/6	100%
瀬戸第6団	6/6	100%
長久手第1団	6/6	100%
日進第1団	6/6	100%
日進第2団	6/6	100%
平均出席率		89%

行事国際委員会

	出席/開催	出席率
犬山第5団	4/6	67%
犬山第7団	5/6	83%
大口第1団	3/6	50%
尾張旭第1団	5/6	83%
春日井第2団	5/6	83%
春日井第3団	5/6	83%
春日井第4団	5/6	83%
春日井第5団	6/6	100%
春日井第8団	5/6	83%
春日井第10団	3/6	50%
北名古屋第1団	3/6	50%
北名古屋第2団	5/6	83%

	出席/開催	出席率
清須第1団	4/6	67%
江南第1団	4/6	67%
江南第3団	0/6	0
小牧第1団	3/6	50%
小牧第2団	4/6	67%
瀬戸第1団	6/6	100%
瀬戸第6団	1/6	17%
長久手第1団	0/6	0
日進第1団	6/6	100%
日進第2団	6/6	100%
平均出席率		80%

総務委員会

	出席/開催	出席率
犬山第5団	2/5	40%
犬山第7団	2/5	40%
大口第1団	3/5	60%
尾張旭第1団	3/5	60%
春日井第2団	4/5	80%
春日井第3団	5/5	100%
春日井第4団	4/5	80%
春日井第5団	5/5	100%
春日井第8団	3/5	60%
春日井第10団	5/5	100%
北名古屋第1団	5/5	100%
北名古屋第2団	4/5	80%

	出席/開催	出席率%
清須第1団	2/5	40%
江南第1団	3/5	60%
江南第3団	3/5	60%
小牧第1団	3/5	60%
小牧第2団	3/5	60%
瀬戸第1団	3/5	60%
瀬戸第6団	4/5	80%
長久手第1団	4/5	80%
日進第1団	5/5	100%
日進第2団	4/5	80%
平均出席率	78/110	70.9%

ラウンドテーブル [出席率 %]

	BVS	CS	BS	VS	RS
開催回数	8回	8回	8回	8回	4回
犬山第5団	88	100	100	25	0
犬山第7団	88	63	88	100	0
大口第1団	88	75	75	63	25
江南第1団	100	88	100	100	0
江南第3団	75	88	88	88	0
北名古屋第1団	25	25	75	63	25
北名古屋第2団	50	75	50	75	50
清須第1団	50	38	100	100	25
小牧第1団	88	100	100	38	75
小牧第2団	88	88	100	63	0
春日井第2団	88	100	88	63	0
春日井第3団	—	50	50	—	50
春日井第4団	100	75	75	13	50
春日井第5団	63	63	88	100	25
春日井第8団	100	88	88	88	50
春日井第10団	88	63	100	75	25
瀬戸第1団	100	100	100	100	50
瀬戸第6団	50	88	88	88	25
尾張旭第1団	100	88	88	88	75
長久手第1団	0	50	88	38	0
日進第1団	88	88	100	25	100
日進第2団	88	50	100	88	100

表彰関連

平成28年度表彰履歴(敬称略)

日本連盟	かっこう章	石川保子	江南第1団
	特別 年功章	5年	15名
		10年	19名
		15年	6名
		20年	8名
	組織拡充顕彰	優良団Aランク	小牧第1団、春日井第2団、春日井第4団
	隊褒彰綬	10年	清須第1団ローバー隊
		25年	春日井第2団ローバー隊 春日井第5団ビーバー隊 春日井第8団ビーバー隊
		30年	犬山第5団ビーバー隊 江南第3団ビーバー隊 北名古屋第2団ビーバー隊 瀬戸第1団ビーバー隊 瀬戸第6団ビーバー隊 小牧第2団ビーバー隊
		40年	犬山第5団ボーイ隊 江南第3団ボーイ隊 瀬戸第1団ローバー隊
45年		北名古屋第1団ベンチャー隊 瀬戸第6団カブ隊 春日井第5団ボーイ隊	
50年		江南第1団カブ隊 小牧第1団ボーイ隊	
愛知連盟	県連有功章	伊藤里枝	春日井第4団 団委員
		石内貴晃	北名古屋第2団 ビーバー隊長
		片谷文	春日井第5団 ベンチャー隊長
		三浦浩嗣	春日井第4団 団委員
		柴田和明	清須第1団 ボーイ隊長
	顕彰記章	梶谷光平	長久手第1団
		星野輝	日進第1団
		佐藤遥	小牧第1団
		小林佑	春日井第2団
		一柳明里	犬山第7団
		岡田葵	瀬戸第1団
		佐伯駿	小牧第1団
	古澤絵美亜	春日井第10団	

尾張東地区トレーニングチームメンバー

		NO	役 務	氏 名	所 属 団	
地区 トレーニング チーム	県 連 ト レ ー ニ ン グ チ ー ム	日 本 連 盟	1	リーダートレーナー	井 上 勲	小 牧 第 2 団
			2	リーダートレーナー	伊 吹 登	長 久 手 第 1 団
			3	リーダートレーナー	中 村 倫 之	小 牧 第 1 団
			4	リーダートレーナー	岩 田 秀 雅	春 日 井 第 8 団
			1	アシスタントリーダートレーナー	森 裕 次	瀬 戸 第 6 団
			2	アシスタントリーダートレーナー	椎 葉 育 美	江 南 第 3 団
			3	アシスタントリーダートレーナー	中 村 友 一	北 名 古 屋 第 2 団
			4	アシスタントリーダートレーナー	中 谷 洋	小 牧 第 1 団
			5	アシスタントリーダートレーナー	中 谷 真 里	小 牧 第 1 団
			6	アシスタントリーダートレーナー	日 比 野 良 治	江 南 第 3 団
			7	アシスタントリーダートレーナー	林 由 美 子	尾 張 旭 第 1 団
	8	アシスタントリーダートレーナー	鈴 木 覚	春 日 井 第 5 団		
	9	アシスタントリーダートレーナー	山 口 貴 美 江	春 日 井 第 10 団		
	10	アシスタントリーダートレーナー	古 木 啓 介	小 牧 第 1 団		
	11	アシスタントリーダートレーナー(休務)	林 尊 浩	長 久 手 第 1 団		
			1	県チームスタッフ	宮 下 彰 洋	犬 山 第 7 団
			2	県チームスタッフ	水 谷 優 介	春 日 井 第 2 団
			3	県チームスタッフ	小 林 弘 幸	春 日 井 第 8 団
			4	県チームスタッフ	河 村 武 人	北 名 古 屋 第 1 団
			5	県チームスタッフ	植 木 治 雄	北 名 古 屋 第 1 団
			6	県チームスタッフ	栗 本 雅 仁	小 牧 第 1 団
			7	県チームスタッフ	古 川 秀 晴	犬 山 第 7 団
			8	県チームスタッフ	佐 藤 精	日 進 第 2 団
			9	県チームスタッフ	石 川 圭 祐	江 南 第 1 団
			1	地区チームスタッフ	伊 藤 克 敏	春 日 井 第 4 団
			2	地区チームスタッフ	中 村 里 美	北 名 古 屋 第 2 団
			3	地区チームスタッフ	水 谷 英 一	江 南 第 1 団
			4	地区チームスタッフ	石 川 保 子	江 南 第 1 団
			5	地区チームスタッフ	石 原 昌 幸	江 南 第 3 団
			6	地区チームスタッフ	古 木 涉 太	小 牧 第 1 団
			7	地区チームスタッフ	開 内 佐 恵 子	小 牧 第 1 団
			8	地区チームスタッフ	山 梨 智 恵	長 久 手 1 団
			9	地区チームスタッフ	内 田 志 郎	春 日 井 第 4 団
		10	地区チームスタッフ	小 川 恭 平	瀬 戸 第 1 団	
		11	地区チームスタッフ(休務)	岩 田 み どり	春 日 井 第 8 団	

尾張東地区救急チームメンバー

No	役務	氏名	所属団
1	チー フ	小林 泰 陸	春日井第4団
2	サブチー フ	高 多 宣 彰	日進第1団
3		横 江 昭 憲	日進第2団
4		串 崎 武 志	春日井第10団
5	事 務 局	中 村 里 美	北名古屋第2団
6		片 谷 文	春日井第5団
7		松 本 陽 子	春日井第2団
8		水 野 勲	春日井第8団
9		五 井 忍	春日井第4団
10		西 下 秀 志	北名古屋第2団
11		杉 本 京 子	犬山第5団
12		伊 佐 治 知 加 子	日進第2団
13		三 宅 裕 子	瀬戸第1団
14		藤 井 孝 之	小牧第2団
15		伊 藤 栄 志	江南第3団
16		小 川 万 里 子	瀬戸第6団
17		水 谷 優 介	春日井第2団

尾張東地区WEBチームメンバー

No	役務	氏名	所属団
1	ス タ ッ フ	椎 葉 浩 志	江南第3団
2	ス タ ッ フ	石 原 昌 幸	江南第3団